



# BoostAmp *Bst* DNA Polymerase

Code No. 312-09731

## 保存:

Store at -20°C

## 製品説明:

本品は、改変型 *Bst* DNA Polymerase であり、増幅効率、耐塩性が向上しています。

DNA ポリメラーゼ活性と鎖置換活性を持つため、LAMP 法などの等温増幅法に使用可能です。

また、10×Intercalation Mix (別売、Code No. 315-09721) と組み合わせることで、リアルタイム PCR 装置等によって蛍光検出ができます。

## <特長>

- ・増幅効率、耐塩性が従来品の野生型 *Bst* DNA Polymerase と比較して、大幅に向上
- ・10×Intercalation Mix (別売) との組み合わせで、高感度な蛍光検出が可能

## 製品内容:

- ① BoostAmp *Bst* DNA Polymerase  
1,600 units (200 µL) × 1 本
- ② 5×BoostAmp Buffer  
1 mL × 1 本

※5×BoostAmp Buffer は、酵素反応条件の 5 倍濃度です。dNTPs は含まれておりません。別途 dNTPs Mixture (25 mM each) (Code No. 312-07271) 等をご用意下さい。

## 起源:

遺伝子組換え大腸菌

## 活性:

8 units/µL

## 活性定義:

1 unit は、仔牛胸腺 DNA をプライマー／鋳型として、65°C、30 分間に 10 nmol のデオキシヌクレオチドを酸不溶性沈殿物に取り込む酵素活性とする。

## 純度:

- ・DNase 試験: 本酵素 32 units と 1.0 µg の基質 DNA を 37°C で 1 時間反応させても、アガロースゲル電気泳動パターンに変化は認められない。
- ・RNase 試験: 本酵素 32 units と 2.0 µg の基質 RNA を 37°C で 1 時間反応させても、アガロースゲル電気泳動パターンに変化は認められない。

## 至適条件:

本品の推奨反応温度は 65°C~70°C です。  
※非特異的増幅が認められた場合は推奨反応温度の範囲内で反応温度を上げて下さい。  
※反応液に終濃度 0.5 M~1 M のベタインを添加することで、特異性や反応性が向上する場合があります。ただし、使用するプライマーセットによっては逆効果となることもあるため、必要に応じて検討して下さい。

## 失活条件:

80°C で 5 分間加熱して下さい。

## 備考:

LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法は、栄研化学株式会社により開発された日本産の等温遺伝子増幅法です。

## お問い合わせ先:

株式会社ニッポン・ジーン

〒930-0834 富山県富山市問屋町二丁目 7 番 18 号

TEL 076-451-6548

URL <https://www.nippongene.com/siyaku/>

本品は、試薬 (試験研究用) として販売しているものです。  
医薬品の用途には使用しないで下さい。